

公益財団法人京都市健康づくり協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 田中叡峰

2 所在地

京都市南区西九条南田町 1-2

3 電話番号

075-662-1300

4 ホームページアドレス

<http://healthpia21.net/> (京都市健康増進センター)

5 設立年月日

平成5年1月8日

6 基本財産

50,000千円 (うち本市出えん額 50,000千円, 出えん率 100.0%)

7 事業目的

市民が安全で効果的な健康づくりを行えるように、健康づくりの理論の確立及び実践のための環境整備に関する事業を行い、市民の健康と福祉の向上に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 健康づくりを図るための実践活動の推進
- (2) 健康づくりに関する調査, 研究及び情報の提供
- (3) 健康づくり関連団体等との連携及び協力並びに当該団体等の活動の振興
- (4) 健康づくり指導者の養成及び研修
- (5) 京都市健康増進センターの管理運営
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

保健福祉局保健衛生推進室保健医療課 (TEL075-222-3411)

10 役員名等

(1) 理事長

田中叡峰

(2) 常務理事

辻本成秀

(3) 理事

森洋一, 安岡良介, 今西美津恵, 宇野進, 河本勲則, 岸部公子, 仁田一明,
居内学 (保健福祉局保健医療・介護担当局長), 池田雅一 (南区役所副区長)

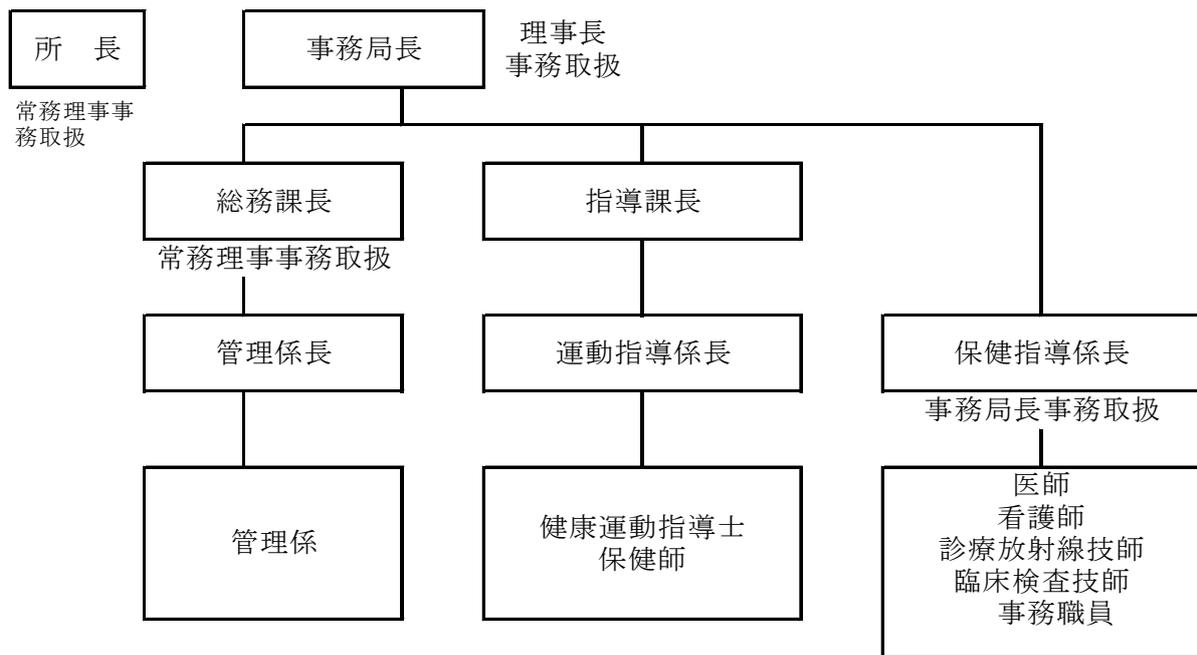
(4) 監事

大川雅司, 志摩裕丈 (保健福祉局保健衛生推進室保健医療課長)

11 常勤職員数

11人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成27年度決算

(1) 事業報告

市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進を図るため、京都市健康増進センター（ヘルスピア21）を拠点として、医師、保健師、看護師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフと医療設備及びプール、トレーニングルーム等の運動設備など、健康増進センターの機能を最大限に活用し、個々の利用者のニーズに合った施設利用を追求し、安全で効果的な各種の健康づくり事業に取り組んだ。

平成27年度は、京都市委託事業の縮小があったが、自主事業による収入増給与費・管理費等の経費の縮減等に努め、当期正味財産増減額は約56万円の赤字に留まった。

ア 中高年齢者に対する健康保持増進事業

(ア) 介護予防事業の推進

市民の健康増進、発病予防、生活機能低下の早期発見・早期対応に向け、平成15年度に作成された運動プログラムの「京から始めるいきいき筋力トレーニング」（京都市オリジナル）や、平成17年度に他都市に先駆けて導入した「油圧式筋力トレーニングマシン」、運動指導、栄養指導に係る専門スタッフを活用し、次の介護予防事業を実施した。

- a ウエイトアップ&食事バランス教室（高齢者栄養相談）
- b かむかむ教室
- c ダイエット&食事バランス教室
- d シニア体力向上教室（自主事業）
- e 転倒予防教室
- f 脳トレ教室（自主事業）

(イ) 中高年齢者の保健指導事業等の推進（特定健康診査、特定保健指導の実施）

これまでの市民の健康の保持・増進に取り組んできた成果を生かして、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームの予防に重点を置いた特定健康診査及び特定保健指導

を実施した。

(ウ) 中高年齢者の健康増進事業の推進

a 生活プログラムの作成，指導及び運動実践による健康づくり指導

生活状況調査，医学的検査，運動機能検査及び診察を通して健康状態の総合判定を行い，その結果から個々の利用者に適した生活プログラム（食生活やトレーニングメニュー）を作成し，その生活プログラムに基づいて医師，管理栄養士及び健康運動指導士による生活・保健指導を実施した。

b 「いきいき筋トレルーム」での中・高齢者筋トレ事業

c いきいき長寿パス等の活用

d 生活機能低下防止対策

e 健康づくり講座

f 脳健康チェック

(エ) 健康度測定室の運営事業

健康度測定とそれに基づいた運動指導や栄養指導だけでなく，医療専門職や機器を活用して，健康増進の指導等に取り組んだ。

(オ) 健康づくり関連団体等との連携協力，活動支援事業並びに調査研究及び普及啓発事業

a 健康づくり関連団体への講師の派遣及び研修生の受入れ等

(a) 出張指導事業

(b) 体力測定出張事業の受託

b 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座の開催実施等

高齢者の転倒予防及び運動習慣に関する知識と「京から始めるいきいき筋力トレーニング」を習得し，地域で普及啓発するボランティアを養成する事業を京都市から受託し，実施した。

c 下京区歩歩塾の運営受託

d 健康づくりに関する調査，研究及び提供

(カ) 青少年等の健全な身体増進事業

日常生活において「運動・栄養・休養」のバランスを取ることの重要性を市民の方々に普及啓発し，その実践の場としてプール，トレーニングルーム等の利用を促進した。

また，「太極拳」，「ヨーガ」，「健康カラオケ」，「楽しい水中たいそう」など，毎月 67～70 教室を開講した。

(キ) 診療所での一般健康診断，特定健診，労規健診，予防接種の実施

(ク) 京都市健康増進センターの管理運営

平成 23 年度から平成 27 年度までの間，京都市から同センターの指定管理者として指定を受け，市民の健康づくりに供しているが，28 年度からの 5 年度についても選定委員会から選定を受けた。

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成28年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	55,696	58,077	△ 2,381
未収金	7,423	8,481	△ 1,058
前払金	511	647	△ 136
棚卸資産	399	384	15
有価証券	50	50	0
流動資産合計	[64,079]	[67,640]	[△ 3,560]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産	50,000	50,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
退職給与引当預金	16,689	15,189	1,500
特定資産合計	(16,689)	(15,189)	(1,500)
(その他固定資産)			
什器備品	23,054	23,054	0
減価償却累計額	△ 22,936	△ 22,842	△ 93
電話加入権	148	148	0
その他固定資産合計	(266)	(360)	(△ 93)
固定資産合計	[66,955]	[65,549]	[1,407]
資産合計	131,035	133,188	△ 2,154
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,506	13,781	△ 4,275
預り金	730	747	△ 16
受入保証金	37	34	3
流動負債合計	[10,273]	[14,562]	[△ 4,289]
2. 固定負債			
退職手当引当金	32,608	29,896	2,712
固定負債合計	[32,608]	[29,896]	[2,712]
負債合計	42,881	44,458	△ 1,577
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[50,000]	[50,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[38,154]	[38,731]	[△ 577]
正味財産合計	88,154	88,731	△ 577
負債及び正味財産合計	131,035	133,188	△ 2,154

正味財産増減計算書
平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	790	790	0
事業収入	209,194	213,445	△ 4,251
雑収益	495	455	40
経常収益計	210,479	214,690	△ 4,211
(2) 経常費用			
事業費	208,221	214,812	△ 6,590
管理費	2,834	3,043	△ 209
経常費用計	211,056	217,855	△ 6,799
当期経常増減額	△ 577	△ 3,165	2,588
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職手当引当金取崩	0	1,867	△ 1,867
経常外収益計	0	1,867	△ 1,867
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	1,867	△ 1,867
当期一般正味財産増減額	△ 577	△ 1,298	721
一般正味財産期首残高	38,731	40,028	△ 1,298
一般正味財産期末残高	38,154	38,731	△ 577
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの振替額			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	88,154	88,731	△ 577

2 平成28年度事業計画

(1) 事業計画の概要

平成27年度に引き続き、市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進を図るため、京都市健康増進センター（ヘルスピア21）を拠点として、次の事業に取り組む。

ア 中高年齢者に対する健康保持増進事業

(ア) 介護予防事業の推進

- a いきいき筋力トレーニング教室（施設通所型，出張型）
- b シニア栄養教室（高齢者低栄養相談）
- c 口腔ケア教室
- d シニア体力向上教室
- e ロコモステップ教室

(イ) 中高年齢者の保健指導事業等の推進

(ウ) 中高年齢者の健康増進事業の推進

- a 健康度把握の推進と運動実践による健康づくり

- b いきいき長寿パス等の活用
- c ヘルスピア 21 筋トレ教室等各種教室等の開催
- d 生活機能低下防止対策コース等の開設
- (エ) 健康度測定等に係る推進体制の強化
- (オ) 健康づくり関連団体等との連携協力，活動支援並びに調査研究及び普及啓発事業
 - a 健康づくり関連団体への講師の派遣及び健康づくりの調査研究等
 - b 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティアの養成等
 - c 下京区歩歩塾の運営受託
- イ 青少年等の健全な身体の増進事業
- ウ 京都市健康増進センターの管理運営

(2) 予算

正味財産増減予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	790	790	0
事業収入	237,954	237,211	743
雑収益	474	479	△ 5
経常収益計	239,218	238,480	738
(2) 経常費用			
事業費	235,078	234,374	704
管理費	3,275	3,562	△ 287
経常費用計	238,353	237,936	417
当期経常増減額	865	544	321
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	865	544	321
一般正味財産期首残高	39,275	38,731	544
一般正味財産期末残高	40,140	39,275	865
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	90,140	89,275	865

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	234,698	214,690	210,479	239,218
	当期経常増減額	2,458	△3,165	△577	865
	当期正味財産増減額	2,458	△1,298	△577	865
貸借対照表	総資産	137,687	133,188	131,035	
	総負債	47,658	44,458	42,881	
	正味財産	90,028	88,731	88,154	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
委託料	京都市健康増進センター管理 運営業務の受託 (指定管理)	80,356 (※)	79,869 (※)	78,613 (※)	79,000 (※)
	通所型介護予防事業	18,465	3,538	3,654	
	中・高齢者筋肉トレーニング 教室	11,847	11,776	8,652	
	高齢者筋力トレーニング普及 推進ボランティア養成講座	9,002	9,002	9,002	
	特定保健指導等	2,862	3,485	3,498	

(※) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 受託事業減少のため収益が悪化している中、人件費等の削減により、前年度に比べ単年度赤字を縮減した。
事業面	・ 団体設立の目的である「市民の安全で効果的な健康づくり」を行えるよう、事業内容を充実させていく必要がある。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 収益減少に合わせた経費節減に努めた点は評価できる。引き続き、公益財団法人に求められる収支相償の確保に向け取り組んでいただきたい。
事業面	・ 民間と競合する事業については、独自性を発揮できる事業内容を検討するとともに、事業の必要性についても検討が必要である。